

第70回 ビジネス文書実務検定試験 (5.7.2)

第1級速度部門問題 模範解答

近年、少子化の影響によって廃校となる学校が増えている。国の	30
調査によると、廃校数は全国の公立学校で、毎年約450校にも上	60
る。再利用する予定がなく、学校として使用されなくなった施設を	90
残しておく、管理に必要なコストが余計にかかってしまう。その	120
ため、自治体は企業や住民と連携しながら、新たな施設として活用	150
する動きが広がりを見せている。	166
ある企業は、廃校となった中学校を活用し、海外の電気自動車を	196
分解して、その構成部品を展示する施設をオープンした。体育館と	226
いくつかの教室を使って種類ごとに展示することで、比較しやすく	256
している。試乗車も用意しており、広い敷地で走行させることもで	286
きる。他にも、金属加工の工場として使用する企業が現れた。この	316
加工には温度や湿度の管理が重要なため、教室のように区切られた	346
間取りが適しているという。	360
また、観光施設として活用する例もある。ある自治体では、住民	390
によってNPO法人が設立され、宿泊施設を運営している。そこで	420
は、バーベキューや石窯を使ったピザ作り体験、ホテルの観察など	450
ができる。地域住民のサークル活動の拠点としても使われるようにな	480
り、新たな交流の場も生まれた。このような環境で子育てをした	510
いと考え、移住してくる若い家族も増えているようだ。	536
自治体が財政の負担を減らすためには、廃校施設を有効に活用し	566
ていくことが重要である。国はプロジェクトを立ち上げ、事業者や	596
活用方法を募るため、施設の情報発信している。廃校施設を活用	626
することにより、新たな雇用が創出されて、地域経済の発展につな	656
がった自治体もある。たくさんの思い出のある学校が、その役割を	686
変えながら、これからも残っていくことを願いたい。	710

第70回 ビジネス文書実務検定試験 (5.7.2)

第2級速度部門問題 模範解答

最近では、公衆電話を見かけることが少なくなった。かつては駅	30
や公園などに設置されていたが、携帯電話やスマートフォンの普及	60
によって年々減少している。しかし、その存在意義が見直されてき	90
ている。	95
災害が起きた際、安否の確認や緊急通報などで電話回線が混雑す	125
ると、スマートフォンは通信が制限される場合が多い。そのような	155
ときでも、公衆電話はつながりやすい仕組みになっている。電力が	185
電話回線を通じて供給されるため、停電時でも使える。	210
ある小学校が使い方教室を開いたところ、受話器を持ち上げる前	240
に硬貨を入れたため、発信することのできない児童が見られた。ま	270
た、NTT東日本の調査により、約8割の子どもが公衆電話を利用	300
したことがないとわかった。このことを踏まえ、同社はポスターや	330
チラシを作成して、操作方法の周知に向けて取り組んでいる。	359
公衆電話は、緊急時でも有効な通信手段となるため、子どもに限	389
らず大人もその有用性を認識するべきだろう。ウェブページでは、	419
使い方や設置場所を簡単に確認できる。もしものときに備え、普段	449
から把握しておきたい。	460